

見つけてキタ!! 北区魅力写真 コンテスト2023 Web・SNSで一般投票受付!

1次審査を通過した各部門約30作品を対象に、一般投票と審査員3名による2次審査を実施します。一般投票にご参加いただいた方の中から抽選で30名にQUOカード1,000円分をプレゼント。

【投票期間】1月16日(火)～30日(火)Web・SNSで投票

※表彰式当日会場での投票もあります

問 北区魅力写真コンテスト2023事務局(株式会社ジェイコムウエスト)
☎06-7897-2030 ※火・水曜除く10:00～17:00 ✉info@mitsukete-kita.osaka

【表彰式】

📅2月4日(日)15:30～16:30

※当日の一般投票の受付 11:00～13:30(作品展示あり)

📍扇町ミュージアムキューブ(南扇町6-26)

【フォトワークショップ】**要申込**

📅2月4日(日)10:00～11:30

【講師】やまぐち千予氏(フォトグラファー)

【申込】1月28日(日)まで特設HPにて受付

ここに
響いた作品に
投票しよう!



詳細は特設HP▶

第58回「大阪市市民表彰」

公益の増進、産業の振興、学術、文化の向上発展などに貢献し、顕著な功績のあった方などを表彰するものです。今回は、北区関係者で三島保さんが市長から表彰されました。おめでとうございます。



三島 保さん

区政功勞

問 総務課 ☎06-6313-9625 ☎06-6362-3821

西天満小学校下 「子どもはぐくみ隊」が 表彰されました

～大阪府安全なまちづくりボランティア団体表彰受賞～

大阪府では、毎年、犯罪のない「安全なまち・大阪」の実現に向けて、安全なまちづくり活動を先駆的・意欲的に取り組んでいるボランティア団体を表彰しています。令和5年度の表彰団体として西天満小学校下の「子どもはぐくみ隊」が選ばれ、11月9日に大阪府庁本館3階特別会議室にて表彰されました。



(左から2人目)隊長の藤井和美さん

問 地域課
☎06-6313-9549
☎06-6362-3823

届いていますか、新1年生の就学通知書

今年4月に、小学校、中学校、義務教育学校へ入学されるお子さまがいるご家庭に、就学通知書を送付しています。就学通知書が届いていない場合は、お問合せください。

【対象者】

●小学校…平成29年(2017年)4月2日から平成30年(2018年)4月1日までに生まれたお子さま

●中学校…令和6年(2024年)3月に小学校卒業見込みのお子さま

※義務教育学校前期課程に在籍し、そのまま後期課程に進学されるお子さまには就学通知書は送付されません
※外国籍のお子さまについては、北区役所に入学申請書を

提出されたご家庭に送付します

※国立、私立の学校等へ入学される方は届出が必要です。就学通知書と合格先の学校が発行する入学許可証を持って、北区役所で手続きをしてください

【適正な就学について】

居住実態のない住所地に住民登録をし、通学するのは不適正な就学です。住民登録を正しく行い、適正な就学をしましょう。不適正な入学と分かれば、入学後でも本来通学すべき学校へ転校していただきます。

問 戸籍登録課

☎06-6313-9963 ☎06-6362-3822

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちのSDGs⑪

地球規模の環境問題や社会課題の解決も、まずは一人ひとりの小さな実践の積み重ねから。毎月、区内の様々な活動をお伝えします。

談話室マチソワ

知らない人と話すことで 化学反応が生まれる場に

昨年10月、映画や演劇など舞台芸術を中心とする表現活動の場、扇町ミュージアムキューブ(南扇町6)がオープン。複数の劇場からなる複合施設の1階にある8坪程のスペースが、「談話室マチソワ」です。ヨーロッパのカフェ文化のように、いろんな人が立場の違いを超えたコミュニケーションを図れる場にしたいという思いで「談話室」と名付けました。

その思いは、運営スタイルの特徴にもなっています。「マチソワは、店主＝スタッフとお客さん、お客さん同士が話をする場所です。喫茶店やカフェでは普通、人に話し掛けたりしませんが、ここなら映画や演劇の話などをきっかけに、会話が生まれやすいと思いました」と代表の山納洋さん。会員制ですが、スタッフが「話し掛けていいですか?」と尋ねて、大丈夫ならその場で会員になります。申込書も登録も要りません。「映画や演劇を観に来る人、病院に来る人、向かいの保育園に来るお母さんやクリエイターなど、誰もがここで話すことを通じてアイデアを思い付いたり、助けたり助けられたり、情報交換を通じて人と人がつながる空間として活用してほしい」と言います。

人と人のコミュニケーションが減る中、知らない人から話し掛けられると怖いと感じる若者も増えています。ディスコミュニケーションの問題は、想像以上に深刻です。これまでも小劇場「扇町ミュージアムスクエア」のプロデュースや、そのコミュニケーション空間を絶やしたくないと「コモンカフェ」など人が出会い、話す場を創り続けてきた山納さん。「談話室マチソワ」を、重要な社会インフラと位置付けています。「自分の居場所を見付けられない人、孤独を感じている人たちの居場所にもしていきたい。知らない人と話すことで、違う考え方や別の道があることを知ってほしい。様々な世界への扉がここにあるのです」



マチソワスタッフ。「笑顔で皆さんをお迎えします」

談話室マチソワ 南扇町6-26

【目標】**11** 住み続けられるまちづくりを

まちや人々が住んでいるところを、だれもが受け入れられ、安全で、災害に強く持続可能な場所にする

《SDGsチャレンジ》
知らない人に話し掛けてみよう

談話室マチソワの
ホームページはこちら▶



あなたの
夢は?

絵で、居心地のいい 空間をつくりたい



Umiさん

大淀東地域活動協議会が発行する広報誌の制作に2019年から携わっています。「広報誌なので、どなたがご覧になっても愛着を持ってもらえるような親しみやすさを意識して描いています。地域活動はとても大切なもの

なので、受け取った時にうれしくなるものにしたいなあって」

一般企業に勤めていた頃、当時、イラストレーターで現在は画家の武内祐人さんの絵に出会い、衝撃を受けました。絵で人を楽しませたり、幸せにすることができると知り、仕事にしたいと思いました。結婚と同時に会社を辞めてイラストレーターとして独立。制作会社に営業の電話をかけ続けましたが仕事につながらず、もがく日々でした。6年前、シェアオフィス「ヨリドコワークイン」(大淀中2)に活動の場を移したことが転機となり、オフィスメンバーの紹介で、カフェギャラリーやイベントに出展するなど少しずつ仕事につながりはじめました。手元に置いていつでもホッとしてもらえるよう、オリジナルグッズも販売。今ではベビー用品会社のPOPポスターや北区の「子育て応援ハンドブック」をはじめ、福祉・行政関連へも仕事が広がっています。

将来は、空間演出もやってみたいというUmiさん。「紙に印刷されたイラストでも多くの思いが伝えられます。でも、壁に絵が描かれているような空間なら、それをもっと五感で感じてもらえると思うんです。木や布などの素材に描いた絵やサイン(表札)も置いて。その場所にいるより多くの人たちに、優しさや温かさ、ぬくもりを届けたいと思っています。

2月1日(木)～9日(金)まで北区役所1階区民交流プラザで「大淀東展」を開催。Umiさんのイラストも展示されます。



広報誌「笑顔いっぱい
のまちづくり はいつ
大淀東です!」

夢・キタ・ひと

⑳

イラストレーター Umiさん



▲Umiさんの
Instagram

北区の魅力は? 誰もがウェルカムで受け入れてくれる